

城南魂

正しい心
美しい心
粘り強い心

生徒会長選挙

先日の文化発表会・合唱コンクールは、皆さんの真剣な取り組みの成果が表われた素晴らしいものとなりました。当日を迎えるにあたり各学級で様々な葛藤があったのではないかと思います。それをプラスに向けられた結果ではないでしょうか。体育大会の時にも話をしたように、様々な行事を通して学級全体が様々な場面で互いに協力したり、助け合ったりすることが自然にできるようになること、そのことに大きな価値があると私は思います。今の学級で過ごす時間も残り5ヶ月となりました。お互いを大切に、共に成長していきましょう。

さて、今月は城南中学校の新生徒会長の選挙が行われます。2年生の中で、周りの人のため、城南中のため、頑張ってみようか、と考えている人がいるはず。〇〇のために…。という「自分を犠牲にする」などと思う人もいるかもしれませんが。しかしそれは違います。「周りの人を幸せにすることで、自分も幸せになる」のです。自分の仕事を「一生懸命」やって、それが周りの人を幸せにすれば、やりがいを感じ、自分の居場所ができます。自分の居場所があると、どんなに忙しくても、心地よく感じます。学級の日直や係活動などでも同じことがいえるのではないのでしょうか。

生徒会長選挙に限らず、自分の成長のために挑戦し「一生懸命」に頑張る姿は素敵です。

あなたの使っている言葉は？

佐賀県には焼き物で有名な有田町という町があります。その有田町では、町全体で“言われるとうれしくなったり、元気が出たり、心があたたかくなるような言葉”を「ふわふわ言葉」、 “言われると悲しくなったり、元気がなくなる言葉”を「チクチク言葉」という言い方で、言葉についての取り組みがっていると聞いたことがあります。有田町内の子どもたちが小学校と中学校の9年間を通して「ふわふわ言葉」を意識して使うことでより楽

しく学校生活をすごせるように協力して取り組んでおり、この取り組みが町いっばいに広がっているそうです。

おとなも子どもも同じですが、「チクチク言葉」をつかうと、もっとチクチクした言葉が返ってきます。それを放置すると、すぐに日常生活の中でできないことが馬鹿にされ、間違いが冷やかされるなどの場面が見えはじめます。強い者勝ち、早いもの勝ちの流れに、みんなが正しいことや本音を言えない集団になっていきます。投げやりな態度が増え、次々とトラブルが起こります。一方「ふわふわ言葉」は意識し合うだけで、みんなに笑顔と安心がもどってきます。「ふわふわ言葉」を意識して生活することは、単なる丁寧な言い方の勉強ではなく「誰もがかけがえのない存在で、一人ひとりが尊重されなければならない。」というあたり前で大切なことを保障するためのなくてはならない初めの一歩です。

言葉は人権感覚のものさしです。この視点が欠けていたり、理解できなかつたりすると人間関係や物事もなかなかうまくいきません。「ふわふわ言葉」を使えるようになるためのポイントは「認め合う」ことです。相手を見下したり、馬鹿にしたりする気持ちがあるとその気持ちが言葉や行動に現れてきます。相手を一人の人間として尊重し、自分も相手も認め合える関係をつくり、みんなが笑顔で、生き生きとした生活を送ることができる城南中にしていきましょう。

☆ふわふわ言葉の例

- ありがとう
- ファイト
- ごめんね
- どうしたの
- 一緒にがんばろう
- がんばってね
- だいじょうぶ
- いいね

☆チクチク言葉の例

- うざい
- だまれ
- バカ
- 消えろ
- きもい
- しね
- アホ
- 早くしろ

〈保護者の皆様へ〉

SNS での誹謗中傷が起きています。SNS に関する法律も整備されつつあります。学校でも話をしておりますが、今一度ご家庭でも SNS を含めて、相手を傷つける発言や投稿をしないように話をさせていただきますよう、お願いいたします。